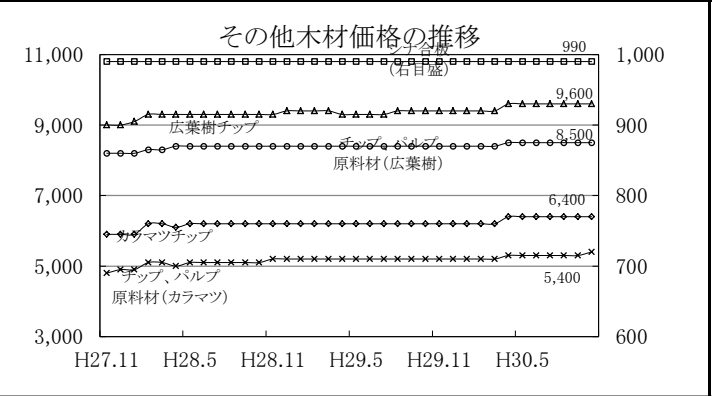
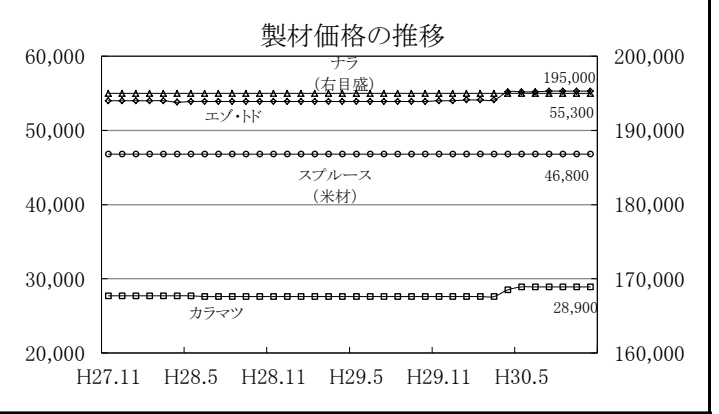
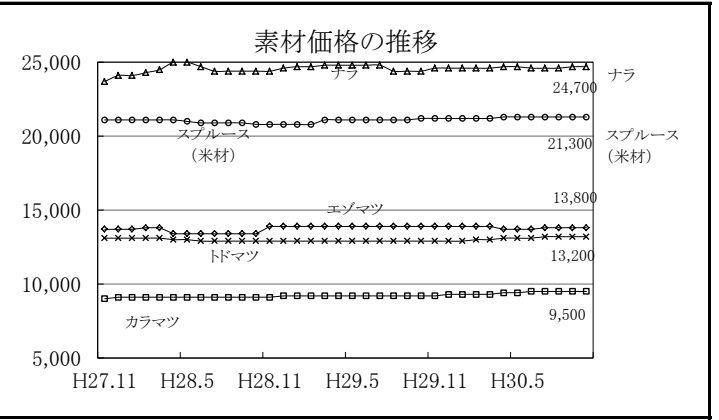


道内の木材市況概況(平成30年10月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向
素材	エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	12,500	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、一部地域で回復の兆しもみられるが、不足感は依然として解消されていない。市況は保合～強保合。 ・カラマツ原木は、原木消費が概ね活発な一方で、在庫は不足感が強まっている。市況は保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって弱保合～強保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の9月の輸入量は6千m ³ (前月0千m ³ ・前年同月6千m ³)。9月末港頭在荷量は6千m ³ (前月比283%・前年同月比55%)。
	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,200	0	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,500	0	
	ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	24,700	0	
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,300	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,300	0	(道産材) ・エゾ・トド製材の荷動きは一部地域を除き、概ね順調に注文が入っている。市況は保合。 ・カラマツ製材は、先月と変わらず、梱包・パレットは注文が順調に入っている一方で、集成材ラミナの荷動きがやや低調となっている。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・9月の新設住宅着工戸数は前年同月比86%。 (外国産材) ・米材製材の9月の輸入量は1千m ³ で前月比257%、前年同月比112%。9月末港頭在荷量7千m ³ で前月比101%、前年同月比73%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	28,900	0	
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	990	0	市況は保合。
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,400	100	・チップ原料材は保合～強保合、パルプ原料材は保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,500	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	6,400	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。
 注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。